

## 科研費需要額の推計について（案）

第5期科学技術基本計画において、当該計画期間（平成28～32年度）中に必要となる政府研究開発投資の数値目標が26兆円とされたことを踏まえ、以下のような作業方針により、当該計画期間終期における需要額の規模を推計してはどうか。

### I 諸条件を設定した推計

以下の諸条件を組み合わせて、高位・低位の複数のシミュレーションを行う。  
研究種目別の採択率・充足率の現況は【別紙1】参照。

#### （1）応募件数の伸び【別紙2】

- ・毎年1.8%増加
- ・毎年3.9%増加

#### （2）採択率の目標

- ・現状維持
- ・「基盤研究（B）」、「基盤研究（C）」及び「若手研究（B）」30%
- ・「主要種目」全体30%

#### （3）充足率の改善

- ・現状維持
- ・各「主要種目」80%

※主要種目：「特別推進研究」、「新学術領域研究」、「基盤研究（S）」、「基盤研究（A）」、「基盤研究（B）」、「基盤研究（C）」、「挑戦的萌芽研究」、「若手研究（A）」、「若手研究（B）」及び「研究活動スタート支援」（「特設分野研究基金」及び「国際共同研究加速基金」によるものを除く）。

### II 単純な推計

政府研究開発投資に関する基本計画の目標（26兆円）に関し、平成27年度科学技術関係予算（4.1兆円）を基準に毎年同率の伸び率により達成すると仮定すると、毎年8%の増加が必要となる（この場合、平成32年度の必要額が6.1兆円となる）。

毎年8%の伸び率を、学術研究基礎投資額（基盤的経費及び科研費の合計）に適用。

- ・基盤的経費・科研費ともに同程度の伸び率
- ・基盤的経費は一定

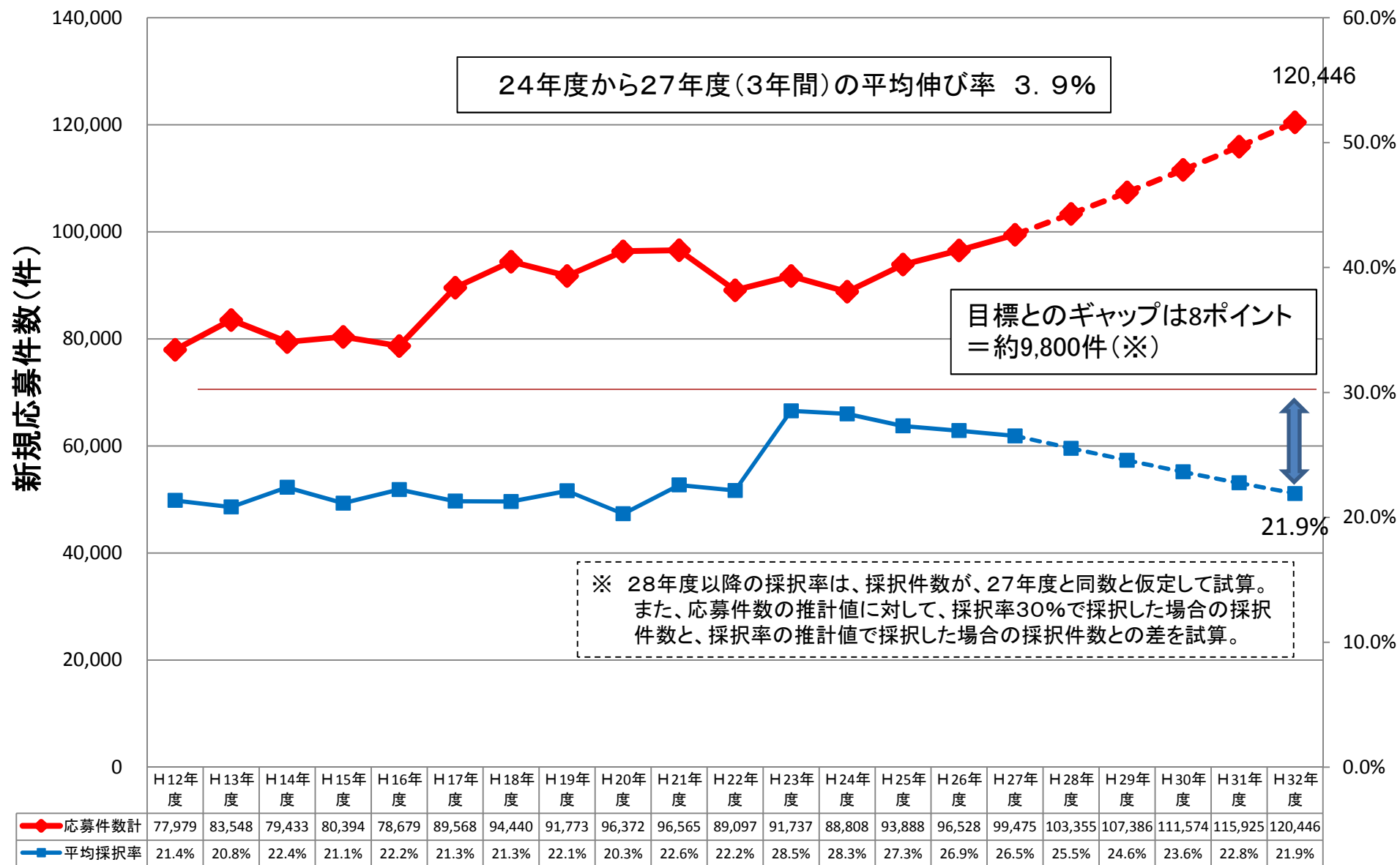
# 平成27年度科研費(新規)採択率・充足率の現状

別紙1

	応募件数	採択件数	採択率(%)	充足率(%)
特別推進研究	106	14	13.2	86.0
新学術領域研究 (研究領域提案型)	6,342	1,016	16.0	81.4
基盤研究(S)	661	87	13.2	76.7
基盤研究(A)	2,585	597	23.1	70.0
基盤研究(B)	11,396	2,638	23.1	69.2
基盤研究(C)	36,843	10,975	29.8	73.9
挑戦的萌芽研究	16,757	3,952	23.6	57.9
若手研究(A)	1,736	389	22.4	63.8
若手研究(B)	19,272	5,771	29.9	62.4
研究活動スタート支援	3,777	943	25.0	77.4
<b>全体</b>	<b>99,475</b>	<b>26,382</b>	<b>26.5</b>	<b>69.9</b>

年度	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27
採択率	21.3	22.1	20.3	22.6	22.2	28.5	28.3	27.3	26.9	26.5
充足率	76.8	75.7	76.9	75.4	75.2	78.1	75.7	74.1	69.2	69.9

# 応募件数・採択率の推移①(高位推計)



# 応募件数・採択率の推移②(低位推計)

